

HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀



NO.294

冒頭の一言

もう 12 月です。今年の夏は暑くて長かったですね。その分、秋はあっという間に過ぎ去っていきました。日本の情緒あふれる秋はどこに行ったのでしょうか。

「今年、私は何をしたのだろうか？」と考えているうちに今年が終わりそうです。歳を重ねると年々年月が過ぎるのが、マッハに感じるのは私だけでしょうか。今年には地震で始まり、異常気象の年でした。来年こそは良い年に。と願うばかりです。

今年も残り 1 ヶ月となりました。一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

さあ暖かい部屋でミカンでも食べながら、この「障ちゃんニュース」をごゆるりとお読み下さい。

kaokao

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	救命講習会報告 … 2 - 4	運営会議報告 … 5
ありがとうコーナー … 6		

一九九四年八月四日第 3 種郵便物承認
HSK 毎月二回（一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日）発行

救命講習会報告

10月15日（火）と17日（木）、文福事務所にて救命講習会を行いました。

参加者は合わせて13名で、消防署から派遣された指導員の方の指導のもと進められました。

傷病者を発見したときに、周囲を見渡し意識があるかどうか確認、もしも意識がなければ周りに人がいたら、声をかけて119番通報とAEDを探して持ってきてもらう。その間に呼吸の有無を確認し、心肺蘇生を行います。

AEDが届いたら、電源を入れて音声で指示されます。電極パッドを貼って指示があれば電気ショックを行います。その後、心肺蘇生とAEDの操作を繰り返し行う連携プレイが必要になります。これを救急車が到着するまで行います。

緊急を要することではありますが、講習はなごやかに行われ、質問などもたくさんありました。

指導員の方から言われた事は、重症ではなくても救急車を呼ぶことが多いという話をされました。そのため、重症であっても救急車がなかなか到着できないというケースがあるそうです。

障害者スタッフも何人か参加され、心肺蘇生やAEDの操作が難しくても、人を呼んだり、119番通報や指示ができると思います。そして救命救急の流れを体感することができました。

講習終了後、参加者全員に修了証明証が手渡されました。

最後に、参加された方々に感想を書いてもらいましたので、掲載します。

ポラリス

私は人が倒れている場面に遭遇した事はありません。人を助ける当事者側に立った事もないので、自分とかけ離れた部分というか、切り離して捉えてしまっている所があります。そのため現実感や緊迫感を感じにくいですが、救命救急講習を受ける度に、救急車の音を聞く度に良くない部分である事を痛感します。

余談ですが、医療ドラマの出演者が救急車から『除細動』という単語が聞こえると「やばいじゃん。」と焦ってしまう様になったというのは、AEDが必要な状態にあるからなのだと今回の講習で辻褄が合いました。いつかではなく、いざという時の為の備えが防災と同様に必要だと思いました。



こう

10月17日(木)消防署からボランティアの講師の方をお招きして文福事務所にて救命講習を受けました。

私は今まで何度か救急車を呼ぶ場面に出くわした事があります。

その時は“119”の番号すら思い出せないほど頭の中が真っ白になってしまった事を覚えています。

「いざという時、私は落ち着いて処置や指示ができるだろうか」と内心思いながら講師の方なお話を聞いていました。

安全の確認、傷病者の反応の確認、119番通報、周囲への声かけ、AEDの手配、呼吸の確認。

頭では手順など分かっていたつもりでも、AEDの具体的な使い方は初めて教わりましたし、マネキンを用いての胸骨圧迫もやってみると思った以上に力が必要で30回やりきる頃に私は息が上がってしまいました。

交代で行ったり、役割を分担する、など救急車が到着するまでの間、周囲の方との協力が大切なのだと体感しました。

今回の講習を受け、日常生活で私達が出来る事はなんだろうと考えるきっかけにもなり、普段利用する施設や場所で「こんな所にAEDがあるんだ」と少しでも意識をしながら生活する事から始められるのではないか。と思いました。

ありがとうございました。

運営会議報告 2024 年 10 月 24 日現在

●各部からの報告

◇学習会

・河除さんの「イベントが南砺の「ヘリオス」にてあります。また楡原中学校での講演会は 12 月 9 日(月)に決まりました。

学習会については、担当者の体調が悪く場所を借りての開催は不安定なため、文福事務所で 16 日学習会を行うことでした承された。安楽死番組を見ての意見交換です。

◇障害者部会

・部会の通帳名義を前部長から現部長に変更になった。

・地域のバリアフリーについて、自分の住んでいる地域で各自が感じていることを皆で話し合い、色々意見が出た。

◇派遣

・ザ★カイジヨ基礎課程を今週末(10/26、27)に行く。

◇レクリエーション

・10 月 12 日に店飲み会実施。夢宙人メンバー含め 13 名参加。

・年内行事としてはオンライン飲み会とボッチャを予定。日時未定。

◇障ちゃんニュース

・12 月 1 日号は救命救急講習のことを中心に考えている。原稿〆切 11 月 8 日、印刷 11 月 15 日(金)予定。

・これまで「障ちゃんニュース」と「まっち」の会員名簿や発送先は、各部で行っていたが、今後は報告し合い連携を取りあって行っていく。

◇まっち

・29 号は郵送・配布終了。30 号のテーマ「自分の推し」。〆切は 12 月末日、発行予定 1 月末日。テーマ以外の原稿も随時募集中。

●その他

・10 月 15 日と 17 日に事務所で救命救急講習会を行い 13 名受講。

・今、行っている事務所での会議について、今後、送迎が難しい時や悪天候で事務所に来るのが困難な場合を考え、オンラインでの開催を取り入れた方がよいという提案があった。まずは、次回の部会でやってみることに決まった。

次回の運営会議は 11 月 26 日(火)

報告 久保

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう、今年はいつもと違って 10 月の終わりに台風 21 号 🌀 が発生しました。11 月になってからも、真夏日になったりしましたが、ようやく秋らしくなってきました。

さて、もう 12 月になります。今年を振り返れば、前にも書きましたが、自然災害が本当に多い年でした。まだ、終わっていませんが、なんか今年を思うと、気が重くなります。

でも、新しい年を迎えるにあたって気持ちも明るく行こうではありませんか。

良いお年をお迎えください。(アパッチ)

*** 2024 年度新規会員・継続会員 ***

松田 成美さま 東 初美さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL / FAX (076) 460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。